

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動名	『土地本来の森』の再生に於ける普及活動	
活動団体名	非営利型一般社団法人 Silva（シルワ）	
活動目的	潜在自然植生種を用いた土地本来の森は、20～30年と短期間で再生できることから、生長過程の太陽エネルギーと二酸化炭素の固定と酸素の供給により、地球温暖化への直接的な緩和策となりえるがその必要性や機能・役割の認知度は、低く講座や講演による知識の共有が必要。その為、当法人では、様々なアプローチで普及活動を行い、森の必要性の認知度を上げることを目的とする。	
活動内容	2021年6月11日に東急建設(株)の取締役社長～部長クラスの皆様へオンライン『第一回環境講演会』の講師を担い、同社内比、過去最多となる517名に聴講いただく。同年12月9日に同社東日本建築支店20名の方へ講座開催。2022年7月6日は、同社東日本建築支店並びに災害防止協力会木造建築支部合同の2022年度安全衛生大会にて講演会の講師を担い39名に聴講いただく。パタゴニアの社員の方々には、6月14日より、同社の福利厚生の一環としてある『アクティビズムアワー』を活用した月に1回の環境活動に当法人を採択いただき、植樹地での野外講座と森づくり体験を11月まで約60名の方へレクチャー。他にも2022年9月26日国際ソロプチミスト横須賀20名の方への講座や10月18日横浜サンセット21ライオンズクラブ定例会にて、30名への講演を担い、森作業での野外講座約80日間の累計1,000名の聴講や教育機関での講座のべ350名など、コロナ禍も植樹祭以外に年間2,000名以上へ普及活動を実施、継続中。	
活動写真		
写真説明	2021年6月11日講演の様子	パタゴニア『アクティビズムアワー』
活動効果	植樹祭や野外体験だけでは、30億年以上の進化の歴史をもつ植物生態系の機能や役割を理解いただくことは、難しく、座学と体験の両輪が『土地本来の森』の再生へと繋がる為、学術的なバックボーンによる知識を普及活動することは、非常に重要。講座を受講された方が更に展開した森の再生を検討くださり、2023年春には、湘南国際村めぐりの森での企業のスピンオフ植樹祭を受託や	

	新入社員研修など、多方面に派生している。
今後の展望	オンラインでも十分に理解を促せることから、2023 年は、当法人主催の無料オンライン講座やチーム内の交流会を開催予定。講座を聴講してから、植樹祭や現場へ足を運んでいただくパターンも道筋をつけたい。

活動日 2021 年 6 月 11 日～2022 年 11 月 30 日